



チシマザクラとミネザクラはどこが違う？

チシマザクラ (*Prunus nipponica* var. *kurilensis*) は、分類上はミネザクラ (タカネザクラ) の変種になり、一般には花柄や葉柄に毛がないものをミネザクラ、毛があるものをチシマザクラとしています。しかし本当に見分けがつくのでしょうか？

そこで、根室市内のチシマザクラ (と呼ばれている木) のタネから養成した161本の苗木について、花柄や葉柄に毛があるかどうか、毛がある場合はその多さを調べてみました。

その結果、花柄の毛も葉柄の毛も多いものからないものまで、連続的にみられ、なかには葉柄に毛が多く花柄に毛がないものが8個体見られましたが、花柄に毛は多いが葉柄には毛が少ないものや毛のないものは見られませんでした。花柄と葉柄ともに毛があるものは全体の74.5%、花柄に毛があって葉柄にないものは3.1%、逆に花柄に毛がなく葉柄にあるものは11.8%、両方とも毛がないものは10.6%でした (表 - 1, 写真 - 1)。

花柄や葉柄に毛のないものはミネザクラ、多いものはチシマザクラといえますが、このような結果からは両者の間に明確なラインを引くことは難しいといえます。

そのため、緑化樹として扱う場合は一般に親しまれている「チシマザクラ」に統一しても構わないと考えています。

表 - 1 根室産チシマザクラ実生苗の毛の有無

		葉柄				計	割合					
		多	中	少	無							
花柄	多	3	1	4	-	3	5	21.7%				
	中	1	4	2	4	8	4	6	28.6			
	少	1	8	6	1	5	4	4	27.3			
	無	8	4	7	1	7	3	6	22.4			
計		7	1	3	8	3	0	2	2	1	6	1
割合		44.1%	23.6	18.6	13.7			100				



有毛(多)



有毛(少)



無毛

写真 - 1 葉柄の毛



写真 - 2 きれいな樹形のチシマザクラ

緑化樹見本園の「花ごよみ」ができました

林業試験場には緑化樹見本園があり、500種以上の樹木が植えられています。これらの樹木はそれぞれ種ごとに異なった時期に花を咲かせています。樹木の花には、イチイやカシワのように目立たない花を咲かせる樹種もあれば、ハマナスやユリノキのように美しく目立つ花を咲かせる樹種もあります。緑化樹センターでは、これら美しい花の名前を手軽に覚えやすいように、また、いつの時期にどのような花が咲くか情報提供するために、樹木の花を載せたパンフレットを作成しました。パンフレットは「緑化樹見本園花ごよみ」といい、各樹木の花が咲く時期別に5種類（春、初夏2種類、夏、夏～秋）作りしました。各パンフレットとも代表的な12種の樹木の花を掲載しています。

花ごよみは林業試験場に常備してあります。緑化樹見本園見学の際に無料でお配りしますので、個人、団体問わず職員に申し出てください。



花ごよみ掲載樹種の一部



「春」 マルバマンサク



「初夏」
ベニバナトチノキ



「夏」 ユリノキ

DNAを用いた樹木の産地識別

近年、植物の分野においても、DNAを用いた様々な分析が行われるようになりました。特にイネやイチゴ等の作物，リンゴやナシ等の果樹において，品種の識別や産地の特定等の分析にDNAが広く利用されています。しかし，緑化樹等の樹木においては，DNA分析はほとんど行われていないのが現状です。そこで，林業試験場緑化樹センターでは，絶滅危惧種であるクロミサンザシのDNAを用いて産地の識別を試みました。



写真 - 1 クロミサンザシの花と果実

クロミサンザシ (*Crataegus chlorosarca* Maxim.) は，バラ科サンザシ属の落葉広葉樹で，長野県，北海道，中国東北部，サハリンに分布し，湿地や河畔に生育しています(写真 - 1)。5～6月に，1cm程度の小さな白い花をたくさん付け，果実は，9月頃に黒く熟します。レッドデータブックの全国版，北海道版ともに，最も絶滅の危険度が高いカテゴリーに分類されています。このクロミサンザシについて，道内10箇所の自生地から95個体のサンプルを採取し，DNAを抽出後，産地識別のためDNA分析を行いました(写真 - 2)。その結果，道内のクロミサンザシは，道央グループ，道東グループ及び野付半島グループのおおよそ3つに分類されることがわかりました(図 - 1)。こうしたDNA分析による遺伝的変異の結果に基づき，減少しつつあるクロミサンザシの遺伝的多様性に配慮した保全の指針を提案しました(平成15～17年度重点領域特別研究報告書「道内における絶滅が危惧される樹木の保全技術の開発」)。

個体 1 個体 2 個体 3 個体 4 個体 5 個体 6 個体 7 個体 8

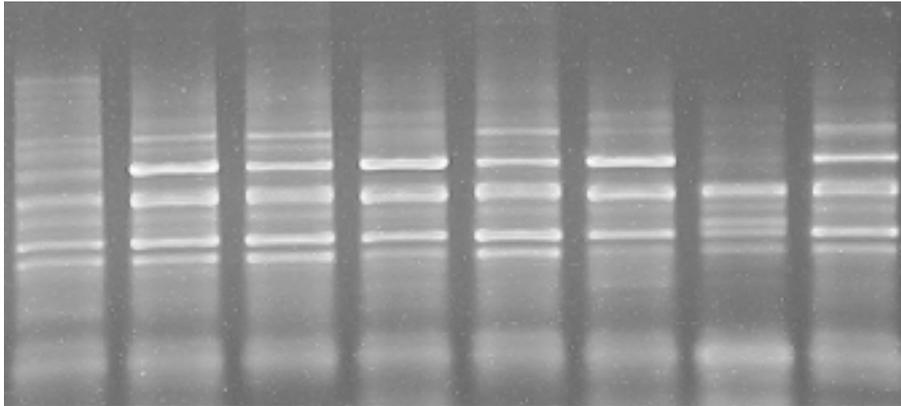


写真 - 2 増幅したクロミサンザシのDNAの電気泳動像
* 個体や産地の違いにより，ひとつひとつのバンドの位置が異なります。

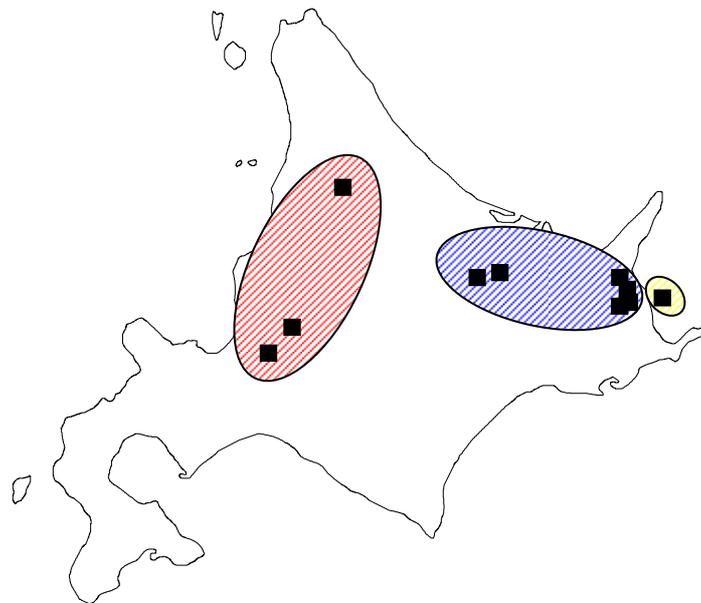


図 - 1 クロミサンザシの遺伝的変異
黒点：調査ポイント，赤：道央グループ，
青：道東グループ，黄：野付半島グループ

また，国立公園等の自然公園内の道路や休憩施設等に植物を植栽し緑化する場合，自然公園法において「当該地域に生育する植物と同種の植物による緑化」を実施するよう定められているため，現在，当該地域の風景を構成している郷土樹木による緑化が行われています。今後，さらに多くの樹木において，DNAを用いて産地及び品種識別技術の開発を進めることにより，“産地の特定された郷土樹木の苗木”や“ブランド化された緑化樹苗木”の付加価値を的確に区別することができ，さらには，苗木の公正な流通を促すことにも貢献できると考えています。

緑化相談の経過 (平成18年11月～平成19年3月 関係分のみ記載)

緑化相談

11月	12月	1月	2月	3月	計
3件	1件	3件	5件	4件	16件

緑化樹講座の予定

次のとおり開催されます。

内 容	開催場所	実施日
緑化樹・春の作業	本 場	4月20日
緑化樹の名前を覚えよう	本 場	6月21日
樹木の保護 虫の被害	本 場	6月28日
小果樹の特性とその利用)	本 場	7月24日
小果樹の増やし方(基礎)	本 場	7月25日
小果樹の増やし方(応用)	本 場	7月26日
緑化樹の増殖方法(実生・さし木)	道東支場	7月12日
緑化樹の増殖方法(実生・さし木)	道北支場	7月19日
緑化樹の増殖方法(実生・さし木)	道南支場	10月19日
緑化樹・秋の作業	本 場	10月12日

詳しい講座内容を知りたい方、または受講を希望される方は、下記の連絡先にお気軽にお問い合わせください。



グリーンダイヤルは
あなたのダイヤルです



「緑化樹」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。

連絡先

緑化樹センター(林業試験場) TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
 林業試験場 道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
 林業試験場 道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
 林業試験場 道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
 ホームページ <http://www.hfri.bibai.hokkaido.jp/>



発行年月日
編集・発行

平成19年4月
北海道立林業試験場 緑化樹センター
〒079-0198
北海道美唄市光珠内町東山